

1. 科目名 (単位数)	基礎演習Ⅱ (1 単位)	3. 科目番号	GEBS2108
2. 授業担当教員	緒方 二郎		
4. 授業形態	演習、発表、グループ討議	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>心理学は科学として在ることを示すことで生まれ、また経験と実践の学としても積みあげられてきている。学問としての心理学を学んでいくにあたり、心理学的なものの方や考え方を養うことは欠かせない。これは、先人の研究成果を正確に読み取り、自身の意見を論理的に組み立てることであったり、臨床心理学的な観点から人間理解を深めることであったりする。</p> <p>本講義においては、心理学の専門的内容を学び始める準備として、心理学の基本的なテーマを取りあげながら、基礎的な知識を身につけると同時に、学問としての心理学の視点・観点を身につけることをねらいとする。講義においては演習や議論、発表を通して、知識と同時に体験的な理解を深めていく。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 心理学的なものの方や考え方を体験的に身につけていく。</li> <li>2 心理学の基本的なテーマについて基礎知識を学ぶ。</li> <li>3 自ら学び、まとめる過程を通して、心理学的視点を身につけ、応用する力を養う。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>学期中に、以下の2つのレポートを課します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. クリティカルシンキングに基づいたレポート作成</li> <li>2. 授業で扱ったことについてまとめること</li> </ol>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 指定無し</p> <p>【参考書】 遠藤健治 (2002). 例題からわかる心理統計学. 培風館</p> <p>・ 瀬谷安弘・天野成昭 (2020). 心理学研究のためのレポート・論文の書き方マニュアルー執筆のキーポイントと例文. ナカニシヤ出版</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)心理学的なものの方や考え方を体験的に身につけることができたか。</li> <li>2)心理学の基本的なテーマについて基礎知識を学べたか。</li> <li>3)自ら学び、まとめる過程を通して、心理学的視点を身につけ、応用する力を養えたか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>学則で定められた単位取得の条件(3/4以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度(授業への積極的参加や発言)50%、試験にかわる課題レポート50%として算出した合計得点により成績評価を行う。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>この授業はあらゆる物事の問題を特定して、適切に分析することによって最適解に辿り着くための思考方法を備えた上で、心理学の基礎的な表現や記述の仕方などを習得することに重点を置いています。「心理学実験」などの今後の授業に必要なレポート作成を中心とした知識・技術を身につけるための授業です。</p> <p>授業態度に関する加点・減点の具体的な内容は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業中は、よく聞き、よく考え、そして復習をすること。</li> <li>2. ディスカッションやグループワーク等において、自主的・主体的かつ協力的に学習を進めること。</li> <li>3. 授業は正当な理由がない限り、欠席、遅刻、早退、中抜けをしないこと。欠席、遅刻、早退をした場合は、その理由を必ず教員に書面をもって報告すること。</li> <li>4. 携帯電話・スマートフォンの授業中の作動は厳禁とする。他の受講生の学習に迷惑をかける行為(私語、居眠り、グループ活動に協力しない等)を慎むこと。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	別途通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 心理学的なものの方と考え方	事前学習	シラバスを熟読しておくこと
		事後学習	配布された資料を見直し、今後の見通しを持っておくこと
第2回	クリティカルシンキングについて	事前学習	クリティカルシンキングの意味を調べる
		事後学習	クリティカルシンキングを備えて物事を捉えてみる
第3回	クリティカルシンキング 物事を批判的に捉える	事前学習	News・メディアなどを批判的に捉えてみる
		事後学習	配布した資料やグループワークを中心に復習し、理解を深める
第4回	論文を紐解く その構成と概要 表題と目次から	事前学習	インターネットで論文を検索してみる
		事後学習	授業の内容を復習し、論文の構成と概要をまとめる
第5回	心理学論文の概要1 序論・目的	事前学習	心理学論文における序論・目的の意味を調べておく
		事後学習	心理学論文の序論と目的の役割を理解し、内容をまとめておく
第6回	心理学論文の概要2 方法	事前学習	心理学論文における方法の意味を調べておく
		事後学習	心理学論文の方法の役割を理解し、まとめて

			おくこと
第7回	解析手法について	事前学習	心理統計法の復習をしておくこと
		事後学習	配布した資料を元に理解を深めておくこと
第8回	心理学論文の概要 3-1 結果 (グラフや図表を中心に)	事前学習	心理学論文における結果の意味を調べておくこと
		事後学習	心理学論文の結果の役割を理解し、特にグラフや図表の示し方、その内容をまとめておくこと
第9回	心理学論文の概要 3-2 結果(統計結果の書き方を中心に)	事前学習	統計の記述の仕方について調べておくこと
		事後学習	心理学論文の結果の役割を理解し、特に統計結果の記述の仕方、その内容をまとめておくこと
第10回	心理学論文の概要 4 考察	事前学習	心理学論文における考察の意味を調べておくこと
		事後学習	心理学論文の考察の役割を理解し、まとめておくこと
第11回	研究デザイン 分類と方法	事前学習	研究デザインの意味を調べておくこと
		事後学習	配布した資料の復習を行うこと
第12回	被験者内計画 実験と調査	事前学習	被験者内計画の実験研究について調べておくこと
		事後学習	配布した資料、グループワークについてまとめておくこと
第13回	被験者間計画 実験と調査	事前学習	被験者間計画の実験研究について調べておくこと
		事後学習	配布した資料、グループワークについてまとめておくこと
第14回	データの整理の仕方	事前学習	データの整理における注意点について調べておくこと
		事後学習	得られたデータについてまとめておくこと
第15回	この授業で学んだことのまとめ	事前学習	これまでの授業内容をおさらいしておくこと
		事後学習	学んだことをまとめ、提出すること